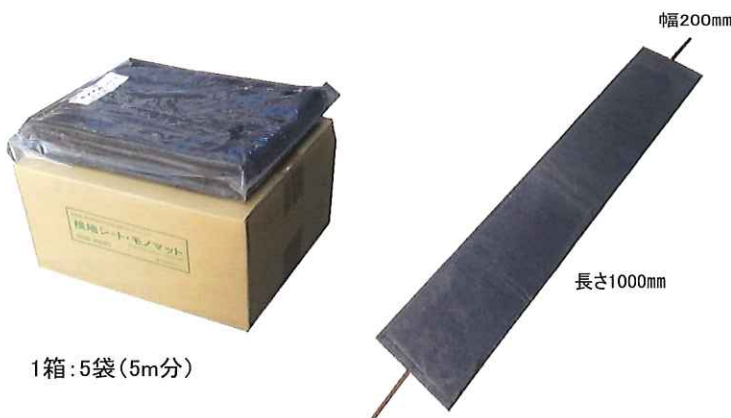


接地シート

モノマット・ドライ

選べる2種類 PGS-200・PGS-200D

ジェル状の接地抵抗低減材イージェルが長繊維不織布に混入された接地シート「モノマット」は、硬質地域や重要な埋設物等で棒状電極が深く打ち込めない場所で、接地板や裸接地線に覆い被せて埋設するだけで、低減効果を高めることができ大幅なコストの削減が可能となります。



◎ 開封し拡げて裸接地銅線に覆い被せて、後は埋設するだけで効果抜群

作業が簡単

開封して、接地極に覆いかぶせて埋設するだけで、手間が掛らず軽量で作業性に優れています。

安全性向上

風の強い日にも、粉塵を吸引する危険が全く無く安全に作業ができます。

コスト削減

土壌密着度が高く、低減材の使用量を軽減出来て、コストの削減につながります。

長期間安定

腐食しない不織布は凝固によるひび割れや流出も無いので、長期間安定した効果が得られます。

〔湿式〕

ジェル状低減材が混入されたモノマット

規格	PGS-200
梱包時	200mm×250mm
使用時	200mm×1000mm
仕様	2層袋・2枚重ね
材質	長繊維不織布 高分子樹脂・水
梱包	1箱・5kg [5袋・5m分]

〔モノマット施工手順〕

注:モノマットは無害ですがぬめりがありますので、取り扱いには付属のビニール手袋を使用してください。



〔ドライ〕

粉末低減材混入されたモノマットドライ

規格	PGS-200 D
梱包時	200mm×350mm
使用時	200mm×1000mm
仕様	2層袋・2枚重ね
材質	長繊維不織布 高分子樹脂
梱包	1箱・1kg [5袋・5m分]

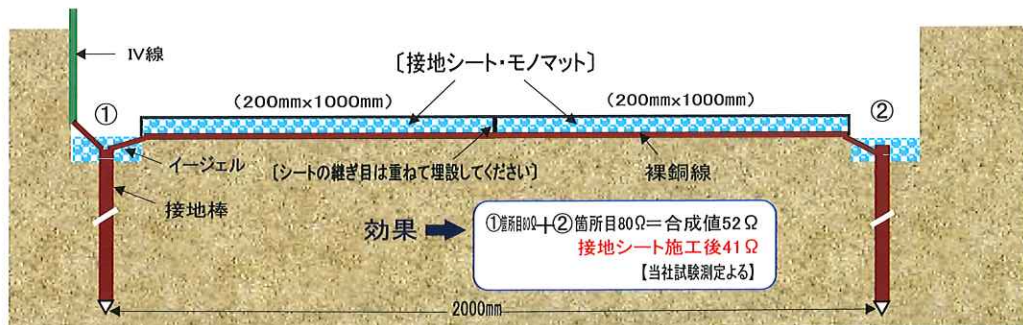
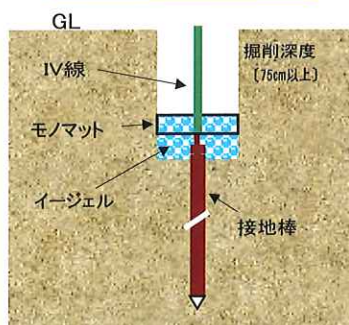
・ドライは敷設の後で、水道水かイージェルを投入して下さい。

幅30cm深さ75cm以上の施工に必要な長さを掘削し、接地線を中心に置きます。

接地シート「モノマット」に接地線を挟み込むか覆い被せるか状況に合わせて施工します。

接地シート「モノマット」の上から更に、低減材イージェルを投入すると、低減効果が増大します。

埋設接地線工法〔側断面図〕



※ 製品改良などで、予告なく内容を変更する場合がありますのでご了承ください。

★上記のデータは測定値であり保証値ではありません。

「イーゼ接地マット」+接地極セット

イーゼ接地マット・接地極セット [V-1000 D]

- ・リード線/22sq×1000mm(標準)・裸接地線/端子付き14sq×1000mm×2
- ・樹脂系粉末低減材入り長繊維不織布1000mm×1000mm
- ・パイプ接地棒/14φ×300mm×2
- ・打設ピン/P-14×1 説明書



1箱・重量 5kg (540mm×360mm×60mm)

低減材・イーゼル



1箱・8ℓ(4ℓ×2袋)

作業が簡単

持ち運び時は軽量でコンパクト、使用現場で広げ1000mm×1000mm、手間が掛からず作業性に優れています。

効果が向上

銅製や高耐食メッキ製の板に比べて柔軟性がある不織布なので、土壌との接触が容易に取れるので大幅に低減効果が向上します。

コスト削減

銅製品より安価な上に、使用材料の総重量が軽減される事と作業時間の短縮で、大幅にトータルコストの削減につながります。

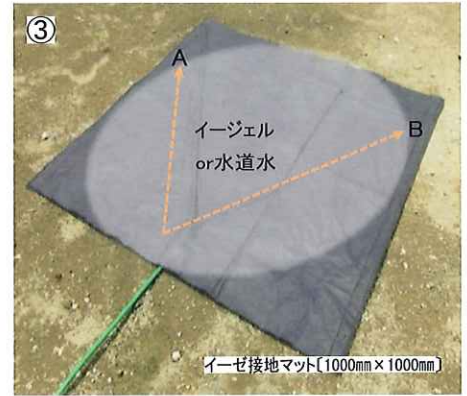
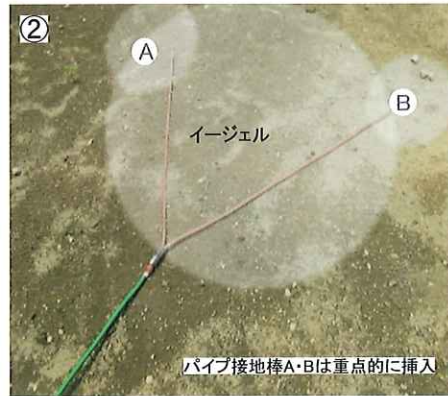
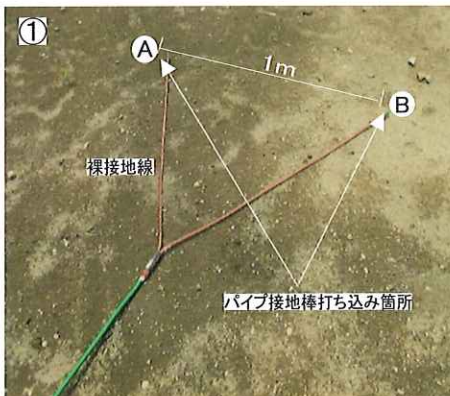
長期間安定

不織布と樹脂系低減材を使用することで、凝固によるひび割れや、土壌に拡散する事も防げて、安定した低減効果が得られます。

- イーゼ接地マットは、銅製接地板や他の接地極にも使用可能です。

【イーゼ接地マット・施工手順】

- ① パイプ接地棒に打設ピンを装着し、1mの間隔でA・Bに打ち込み、端子を取付けた裸接地線を、直線に設置します。
- ② 設置が終わったパイプ接地棒と裸接地線に、低減材「イーゼル」を1袋(4ℓ)投入します。
- ③ 次にイーゼ接地マットを拡げて、パイプ接地棒と裸接地線に覆い被せて、その上に「イーゼル」か水道水を満遍なく敷き詰め埋め戻します。



【品質表示】

【日本製】

品名	イーゼ接地マット [V-1000 D]
サイズ	A・梱包時 540mm×360mm
	B・使用時 1000mm×1000mm
標準電線	【※2】IV22sq×1000mm・14sq×1000mm×2本
付属品	高耐食パイプ接地棒14φ×300mm×2本・打設ピン
材質	長繊維不織布・裸銅線・高耐食メッキパイプ接地棒

【高耐食メッキ製接地板900×900 VS イーゼ接地マットV1000】【※1】

	高耐食メッキ製接地板	イーゼ接地マットV1000
サイズ・重量	900mm×900mm×1.5t 12kg	1000mm×1000mm(梱包540mm×360mm) 5kg
使用材料	低減剤上下へ 12ℓ 38Ω 埋戻後 35Ω	低減材上下へ 8ℓ 35Ω 埋戻後 31Ω
材料重量比較	接地板 12kg+低減剤+水(上下に使用) 12kg=24kg	イーゼ接地マット 5kg+低減材(上下で) 8kg=13kg
【※3】コスト比較	接地板 1枚+低減剤 10kg=100% 銅製=150%	イーゼ接地マット 1枚+接地棒+低減材 8ℓ=50%

●高耐食メッキ接地板に使用した低減剤は固系タイプで、イーゼ接地マットには専用の樹脂系低減材イーゼルを使用しています。

【※1】 上記データは、広島市南区(M-1地区)のマサ土の現場にて、高耐食メッキ製接地板とイーゼ接地マットのフィールドテストを行った測定値であって保証値ではありませんが、他の現場でも同じ様な比率でデータを取得しております。[参考: このM-1地区は、接地棒14φ1500mmを1本打ち込んで110Ωの抵抗値を取得しています。]

【※2】 電線につきましては、各種対応が可能です。

【※3】 コスト比較につきましては、建設物価記載価格相当の接地板・低減剤と、イーゼ接地マット及び低減材イーゼルの標準価格との比較となります。

【販売代理店】

【SDGs宣言登録の広島県オンリーワン企業】

株式会社 モノトーン

本社 〒734-0015 広島市南区宇品御幸2丁目16-10
TEL 082-252-0727・FAX 082-252-5272
http://www.monotone.co.jp
札幌営業所 〒002-0853 札幌市北区屯田3条2丁目2-40

【製造元】 ベーシックコーポレーション